



2021年6月10日

各 位

会社名 株式会社ビーアンドピー
住 所 大阪市西区江戸堀二丁目6番33号
代表者名 代表取締役社長 和田山 朋弥
(コード番号：7804、東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 清 水 明
(TEL. 06-6448-1801)

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたのでお知らせいたします。

記

○開催状況

開催日時 2021年6月9日 15:00～
開催方法 動画配信による説明とメールによる質問の受付
開催場所 弊社ホームページにて動画を公開しております。
説明会資料名 2021年10月期第2四半期 決算説明資料

【添付資料】

投資説明会において使用した資料

以上



株式会社ビーアンドピー

2021年10月期 第2四半期 決算説明資料

証券コード 7804

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

1

2021年10月期第2四半期 業績サマリー

2

2021年10月期 業績予想と今後の取り組み

3

成長ビジョン

4

株主還元

5

参考資料

1

2021年10月期第2四半期 業績サマリー

売上高 **1,293百万円**

通期計画進捗率：**48.8%**

営業利益 **150百万円**

通期計画進捗率：**58.8%**

ポイント

- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中、3月年度末需要の取り込み成果もあり、売上は計画通りに進捗。特に、2Qの売上は堅調に推移。
- ✓ コスト抑制体制の浸透により収益力がUPし、2Q時点の利益進捗率は好調。
- ✓ データ処理自動化ソリューションを導入し生産効率向上の動きも進捗。
- ✓ 業務提携による新分野開拓等、新規ビジネスの営業活動を積極的に推進。

2021年10月期 第2四半期 P/Lサマリー



年度末需要の積極的な取り込み、コスト削減などを実行。
前年同期比で減収減益となったが、**通期計画に対しては想定通りに進捗。**

	2020.10 2Q (実績)	2021.10 2Q (実績)	対前年同期比 増減率 (%)	2021. 10 通期計画	通期計画 進捗率 (%)
(単位：百万円)					
売上高	1,413	1,293	▲8.5%	2,650	48.8%
営業利益	181	150	▲17.2%	256	58.8%
経常利益	185	158	▲14.5%	263	60.1%
当期純利益	127	107	▲15.7%	179	59.7%

財務指標



▶ コロナ禍の経済不安な状況でも一定の利益を確保、**強固な財務基盤を維持。**
自己資本比率は、85.2%と80%台を維持。

(単位：百万円)	2017年10月期	2018年10月期	2019年10月期	2020年10月期	2021年10月期 2Q
純資産額	1,421	1,825	2,588	2,613	2,670
総資産額	2,097	2,451	3,160	3,025	3,136
自己資本比率	67.8 %	74.5 %	81.9 %	86.4%	85.2%
従業員数	176 人	173 人	184 人	183人	183人

四半期単位の売上推移

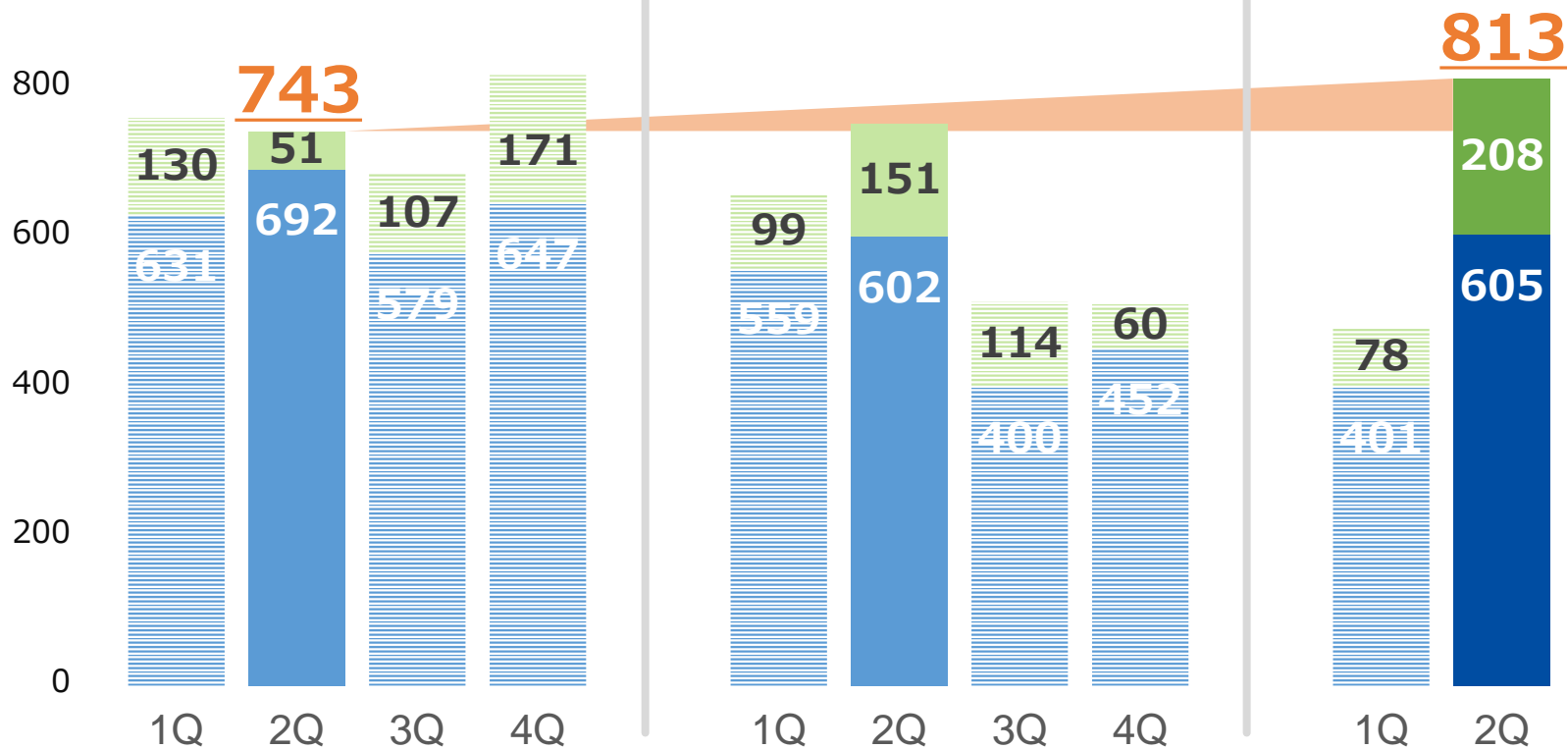
販促広告分野での年度末需要獲得、生活資材分野の壁紙案件の好調などにより、
2Qは1Qからの大幅回復達成、コロナの影響のなかった前々期（2Q）を上回る売上を確保。

(単位：百万円)

1,000

■ 販促広告 ■ 生活資材

第2Q累計
 販促広告 1,006百万円
 生活資材 287百万円



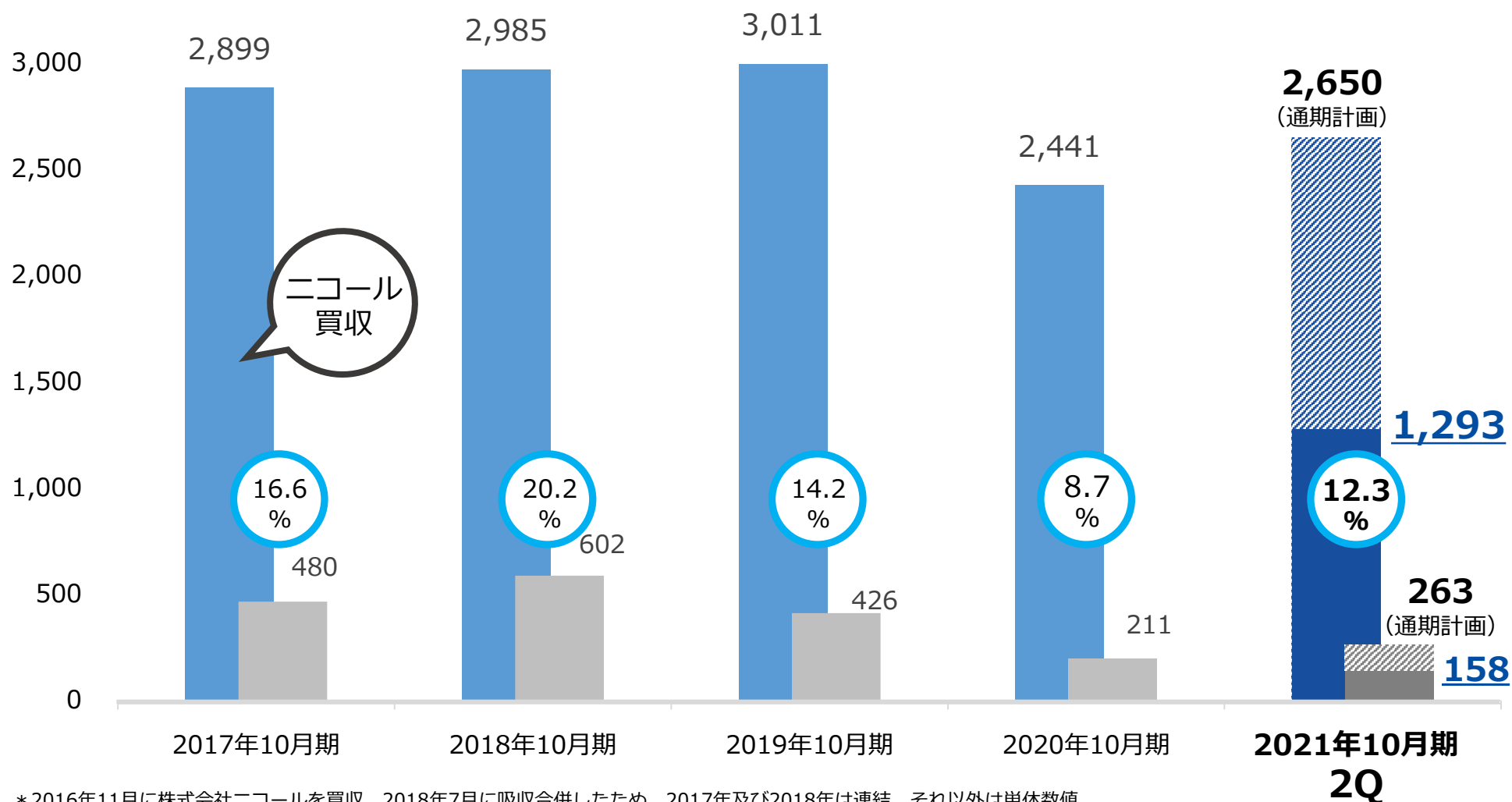
2019年10月期

2020年10月期

2021年10月期

5年間の業績推移

(単位：百万円) ■ 売上高 ■ 経常利益 ○ 経常利益率



* 2016年11月に株式会社ニコールを買収、2018年7月に吸収合併したため、2017年及び2018年は連結、それ以外は単体数値。

貸借対照表



(単位：百万円)	2020年 10月期	2021年 10月期 2Q	増減額
流動資産	2,778	2,876	+98
現金・預金	2,264	2,222	▲41
売掛金	374	433	58
その他	138	220	81
固定資産	247	259	12
有形固定資産	74	62	▲12
無形固定資産	47	46	▲1
投資その他資産	124	151	+26
資産合計	3,025	3,136	+110

	2020年 10月期	2021年 10月期 2Q	増減額
流動負債	284	338	+54
買掛金	121	169	+47
固定負債	126	126	▲0
負債合計	411	465	+54
純資産合計	2,613	2,670	+56
資本金	286	286	±0
資本剰余金	276	276	±0
利益剰余金	2,051	2,108	+56
負債純資産合計	3,025	3,136	+110

2

2021年10月期の業績予想
今後の取り組み

業績予想



独自の付加価値サービスを追求し本格的な事業拡大に向けての
基盤づくりを行うことにより前期比8.5%増収を計画。

(単位：百万円)	2020年10月期 (実績)	2021年10月期 (予想)	増減率 (%)
売上高	2,441	2,650	+8.5%
売上総利益	949	1,076	+13.4%
売上総利益率	38.9%	40.6%	
営業利益	207	256	+23.3%
営業利益率	8.5%	9.7%	
経常利益	211	263	+24.6%
経常利益率	8.7%	10.0%	
当期純利益	140	179	+28.1%

2021年10月期の取り組みと進捗状況

Withコロナ・Postコロナにおいて

「新商材」の提案
「コスト削減」の取り組み

前進

リアルとデジタルを組み合わせた商品の提案

生産効率化による低コスト体質定着

経済活動の回復局面において

「独自の付加価値サービス」を追求し、事業基盤を拡大

積極化

東京地区の事業体制の整理統合により
営業力強化、生産能力を向上

重点強化地域の新規活動強化

新しい手法への積極的な取り組み

既存ビジネスの着実な拡大と
新しい市場の開拓を図る

進展

デジタルサイネージ事業と
インターネット通販サポート事業を開始

デジタルサイネージ事業をスタート



B&P デジタルサイネージソリューション Digital Signage Solution

当社が持つリソースを最大限生かし、新たな価値を提供します



販促用広告制作のノウハウを生かす

**販売促進用
広告分野**



幅広い販路ネットワークを生かす

**インテリア
内装分野**

デジタルサイネージソリューション B&P Digital Signage Solution

広告サインを知り尽くしたインクジェット出力会社が運営するデジタルサイネージ

ショールームを開設



東京・大阪に「体感型ショールーム」を開設
様々なタイプのデジタルサイネージをご覧いただき
来訪いただいたお客様への提案を行います。

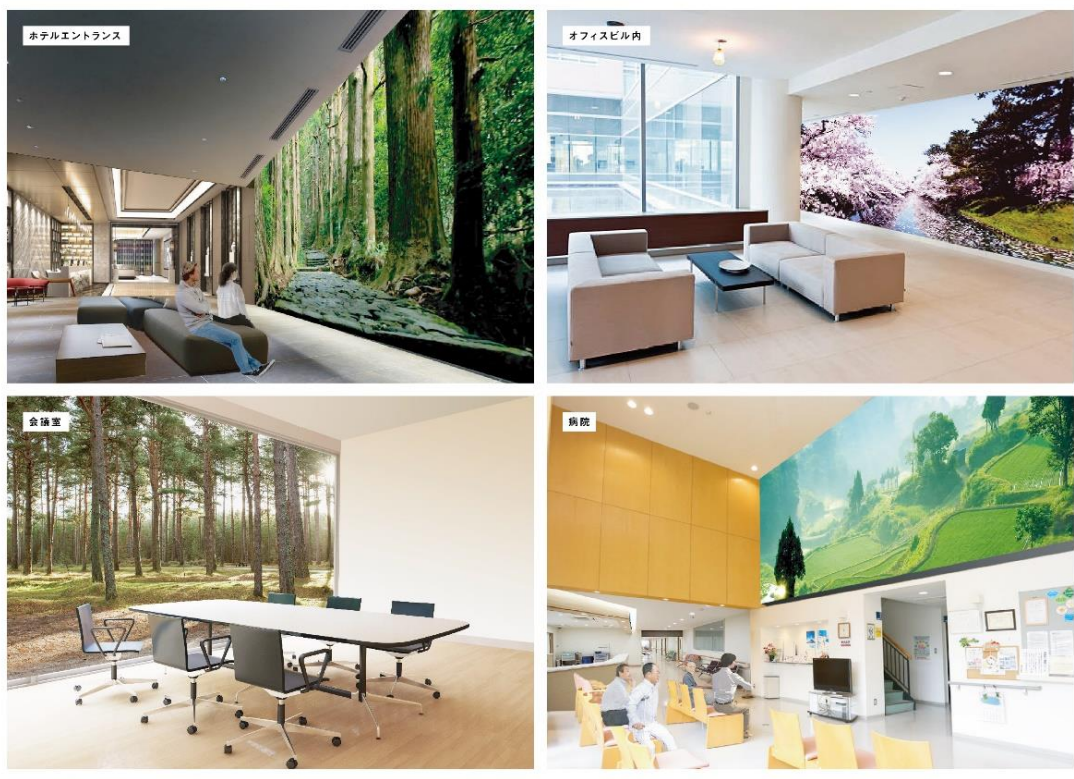
新しい商品の提案



強化段ボールディスプレイと組み合わせたデジタルサイネージなどこれまでのノウハウを活かした商品提案を行います。

B&P デジタルサイネージソリューション Digital Signage Solution

メディアプラットフォーム事業を行う株式会社ピースリーと連携し、「空間演出の新しいカタチ」をインテリア・内装業界に提供。



2021年10月期の取り組みと進捗

訴求力UP

都心部拠点の強化・拡大

- ✓ 東京地区の拠点統合による営業・生産機能の強化を図る。
- ✓ 名古屋地区の営業を重点的に強化する。
- ✓ 見込み顧客リストの精度を高め、**案件成約率の向上**を図る。
- ✓ 営業・制作ともに**回復局面を見据えた体制を維持**。



生産性強化

オートメーション化の推進

エスコグラフィックス社のESKOワークフロー自動化ソリューション「Automation Engine」を導入。



データ処理の
自動化



効率化と生産性UPを実現

- 全ジョブの5割を自動化。
- 作業ミス的大幅削減（約35%減）、作業効率化を実現。
- オペレーターの技術習得を進め、従来の24時間生産体制を強化。

2021年10月期の取り組みと進捗

2021年
9月移転

東京本社を移転・拠点の統合

首都圏エリアの営業機能・生産能力を強化。

制作拠点を統合
生産体制の強化・効率化を図る

東京本社移転
営業機能の集約・強化を図る



東京本社

ニコール事業部
(横浜)



3

成長ビジョン

「リアル領域」 × 「デジタル領域」

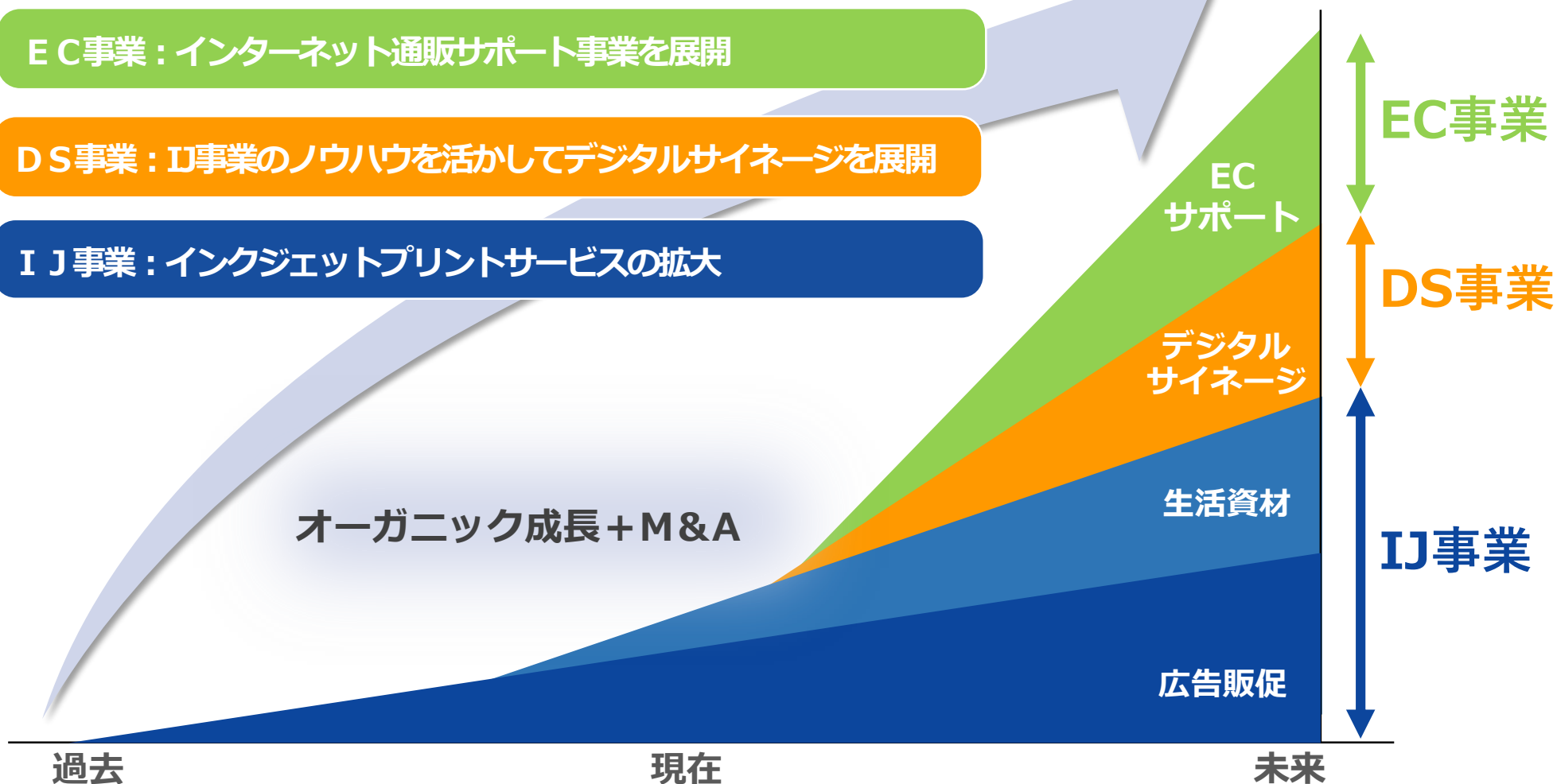
リアルとデジタルの両領域で幅広いサービスを展開していく

EC事業：インターネット通販サポート事業を展開

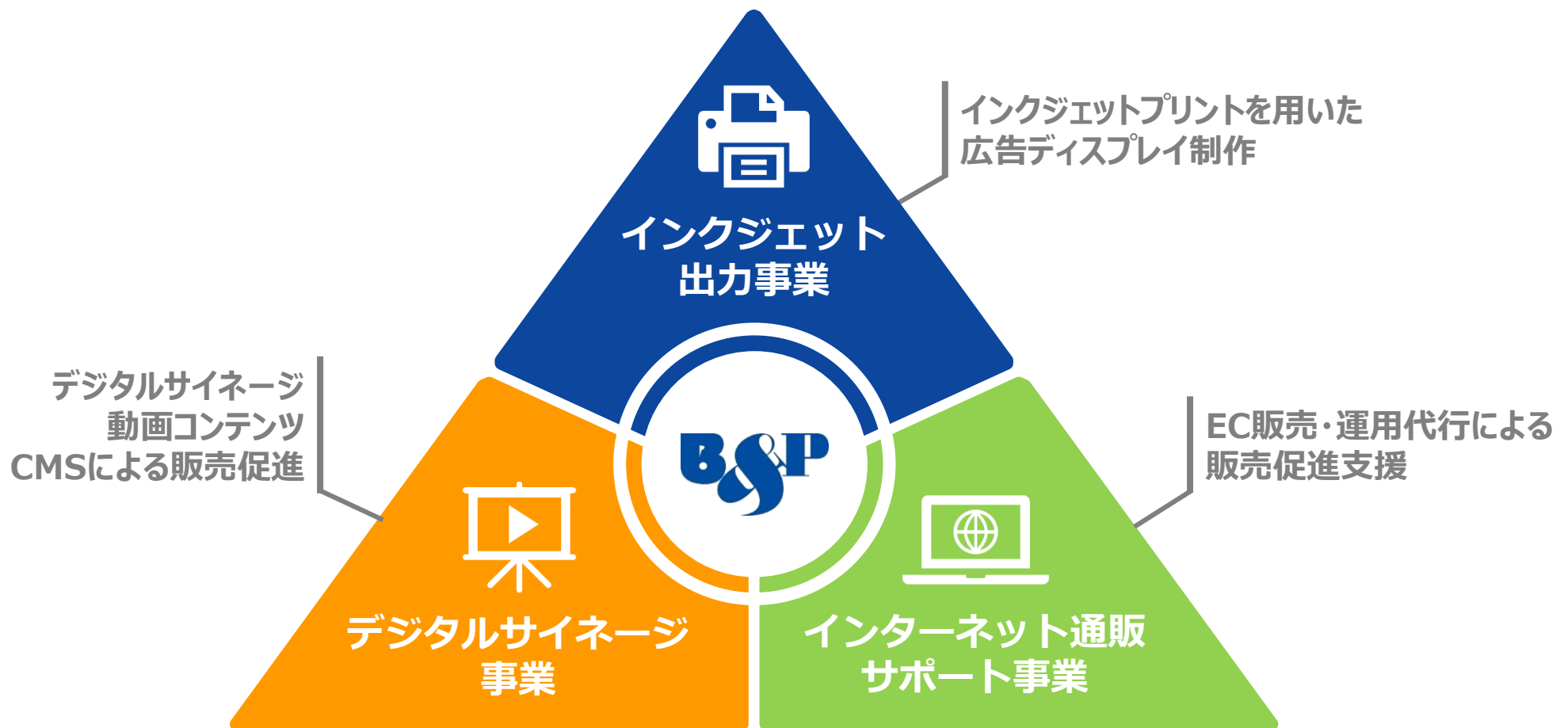
DS事業：IJ事業のノウハウを活かしてデジタルサイネージを展開

IJ事業：インクジェットプリントサービスの拡大

オーガニック成長 + M&A

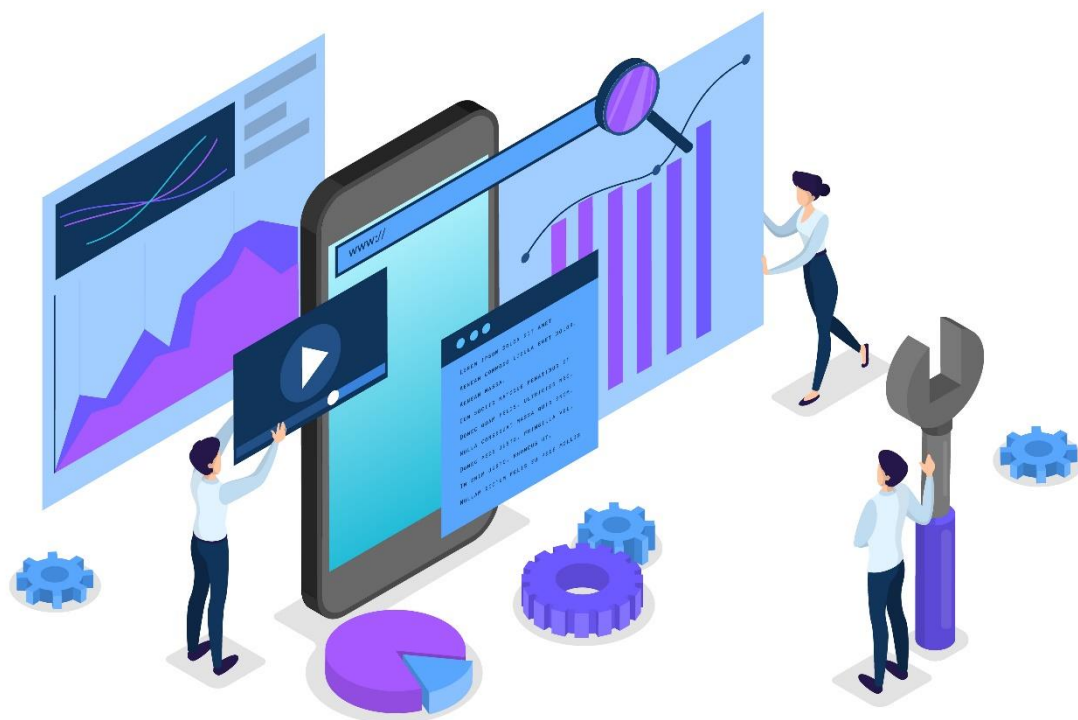


「リアル」と「デジタル」を融合させた ビジネスモデルへの転換にチャレンジし、さらなる成長を目指します



リアルとデジタルの販売促進をトータルでサポート

ECショップの運営支援・実店舗における販促提案を行い
お客様の販売促進活動に貢献する



業界トップクラスの対応

対面によるスピード対応

利益率重視のサポート

継続仕事を任せて安心

広告運用・集客の提案に強い

成長基盤を一層強化できる企業とのM&A

コア事業の強化を軸に、成長加速できる企業とのM&Aを行います。

M&Aに関する基本戦略

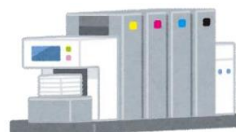


顧客基盤の 拡大



営業地域や
顧客層の拡大を図る

生産能力の 拡大



超量産ロットの
受注体制の構築

エリア販路の 拡大



エリアを広げ
販路を拡大していく

付加価値ビジネス への進出



新たに付加価値がある
ビジネスに進出する

4

株主還元

**株主への利益還元は経営上の重要施策であり
適切な内部留保を確保しつつ、安定した配当を維持継続**

	2020.10月期	2021.10月期
期末配当金	22円	26円 (予想)

5

參考資料

事業概要



企業理念 より良い働きを通じて全従業員の物心両面の幸せを創造し社会へ貢献しよう

事業内容 販売促進用サインディスプレイの制作
屋外用大型サイン・広告の制作
建物の内装、インテリア用品の出力、制作
広告企画および制作に関する提案業務
デジタルサイネージソリューションの提案業務
インターネット通販サポート事業

代表者 代表取締役社長 和田山 朋弥

設立 1985年10月

資本金 2億8千6百万円

本店 大阪府大阪市西区

事業所 大阪、東京、横浜、名古屋、福岡

従業員数 正社員：183名（2021年4月末現在）

上場証券取引所 東京証券取引所マザーズ（証券コード：7804）

上場日 2019年7月24日

「東西大都市」で「営業・連携生産体制」保有

大阪本店 (大阪市)



東京本社 (東京都港区)
3Dスタジオ併設



ニコール事業部 (横浜市)
ワイドフォーマットスタジオ併設



福岡営業所 (福岡市)



名古屋営業所
(名古屋市)



大阪・東京・横浜・名古屋・福岡の 都心部にプリンター設備を配置。 24時間生産体制で出力サービスを展開



充実の設備で最適な商品を提案



100台以上の生産機械によって 多種多様なサインディスプレイ製品を制作

Mimaki 3DUJ-553

フルカラーUV効果インク
ジェット3Dプリンタ



EPSON P20050

水性インク出力機



Mimaki JFX500

フラットベッドUVインク出力機



HP LX360

ラテックスインク出力機



EPSON S80650

溶剤インク出力機



FOTOPA XLD

カッティングマシン
(ロール・シート印刷物対応)



EFI Vutek 5r

スーパーワイドUVインク出力機



UJV55-320

ワイドUVインク出力機



Kongsbelg XP

超高速マルチカッティングマシン



他にも、Mimaki UJV500 (UV機)、
Mimaki JV300 (溶剤機) 等、
合計80台の出力機を保有しています。

免責事項

将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

＜お問い合わせ先＞

株式会社ビーアンドピー 経営管理部

Email: ir_bp@bandp.co.jp

<https://www.bandp.co.jp/ir/>